

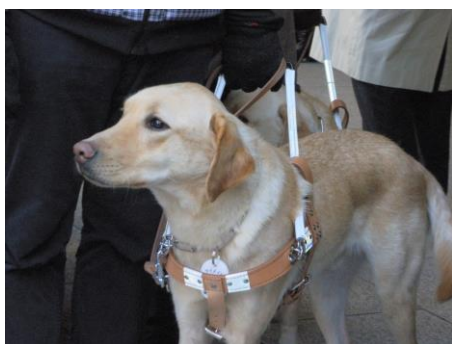


ミニ通信

60号 2014. 3. 20



今回は、書籍の紹介や誘導のルールなど、アイメイト使用者や視覚障害者の方たちについて知るための記事がたくさんあるよ！



歩み展の
ポイントを抜粋！

<特集>

誌上歩み展
盲導犬完成への道筋

TOPICS

- アイメイト関連書籍の紹介
「しなやかに生きる見えない女たち」
「教壇に立つ視覚障害者たち」

協会だより

アイメイト卒業生人数
アイメイト募金実績報告
ミニフォトアルバム協会の日常



連載記事

- 後援会メンバー紹介 (村松 綾子さん)
(矢嶋 紀夫さん)
 - 風を切って歩く幸せ (志賀 信明さん&トリトン)
(水野 玲子さん)
&初代アイメイト チトニア)
- ※同窓会リレー紹介は今号よりタイトルを改め、
様々な形で使用者の方たちをご紹介します！

- 後援会員なら知っておきたい
「誘導の方法にルールはあるがマニュアルはない」

後援会からのお知らせ

- これまでの行事・活動&これからの行事・活動
- 2014 アイメイトサポートカレンダー事業報告
- アイメイトサポートグッズカタログ
- アイメイト募金芳名録
- 役員会議事抄録
- 会員のページ
会員だより…清本京子さん
- 新発売！ラブマスコット (裏表紙)

盲導犬完成への道筋

歩み展の
ポイントを抜粋!

盲導犬の父 塩屋 賢一とアイメイトの歩み

アイメイト後援会では、アイメイトの歴史と実績をより多くの方に知っていただき、さらなる社会啓発へとつなげるため、2011年の5月から「盲導犬の父 塩屋賢一とアイメイトの歩み展」を関東各地で開催してきました。今回はその中から、いくつかのパネルをピックアップして、本誌上で紹介します。日本で初めて国産盲導犬が誕生した瞬間、それはすなわち、日本に盲導犬事業が生まれた時でもあります。(なお、以下の文章は、パネル展示の内容をそのまま使用しています。)



■盲導犬完成への道筋

■目隠し、手探りでの訓練

国内には文献も、ノウハウを教えてくれる人もなかった。賢一は、アメリカなど欧米各国から盲導犬に関する資料を取り寄せて辞書を片手に読み進めていった。その結果、盲導犬には〈車道と歩道の境や曲がり角ではいったん止まる〉〈「右」「左」などの合図で曲がる〉〈道路上や人間の頭の高さの障害物を避けて通る〉などの専門的な能力が必要だと分かった。

文献だけではその具体的な訓練法は分らない。とにかく実際にやってみるしかない。アスターと共に手探りで訓練に取り組む決心をした。まず、視覚障害者の世界を身をもって知るために、目隠しをし

て生活を始めた。何も見えない状態で外を歩き、盲導犬が何に注意をしてどのように誘導すれば良いか、一つひとつ確認していった。それを試行錯誤しながら、アスターに教え込んでいった。ドブに落ちたり、目から火が出るほど思い切り顔をぶつけたこともある。車にひかれそうになってトラックの運転手に怒鳴られたこともあった。

約1年間一歩ずつ道を切り開き、ついに、アスターの盲導犬としての訓練が終了した。1949年、賢一が28歳の時である。

■河相氏からの依頼——目の不自由な大学生と ■チャンピオン犬の血を引く仔犬

アスターの訓練を完成させた賢一は、さらに理想的な盲導犬を追求するために、アスターの子バルド（オス）に初めから盲導犬としての訓練を行った。そしてその訓練は、さらにバルドの子ナナ（メス）へと引き継がれていった。

1956年が明けたある日、相馬安雄氏を通じて、視覚障害者の家族から盲導犬育成の依頼が舞い込んだ。アスターから積み上げてきた経験が、実際に視覚障害者のために生かせる時が来たのである。依頼主は、東京・大田区に住む河相達夫さんという外交官。戦時中の厳しい労働と栄養失調が原因で失明してしまった息子の洸さんのために、息子がかわいがっているチャンピイという犬を盲導犬にして欲しいということだった。洸さんは賢一の5歳年下で、当時大学4年生だった。

チャンピイは、アメリカ大使館付き海軍武官、ウィリアム・C・ノーベル大佐のもとで生まれた、チャンピオン犬の血を引くジャーマンシェパード。将来チャンピオンになれるようにと、チャンピイと名付けられたが、あるパーティーで河相さんと知り合い、洸さんが目が不自由だと知ったノーベル大佐が「盲導犬にしてはどうか」と、まだ仔犬だったチャンピイを譲ったのだった。アメリカで盲導犬が活躍しているのを見ていたノーベル大佐だからこそ、できたことである。



洸さんは、チャンピイを大切に育てた。厳しくしつけながらも、毎日ブラシをかけ、一緒に眠った。そして、盲導犬にする訓練をしてくれる人はいないかと、犬に関係のある仕事をしている人に聞いてまわらううちに、相馬氏から「ちょうどいい人がいます。その人以外に盲導犬の訓練を出来る人はいないでしょう」と賢一を紹介されたのだった。

■チャンピイとの訓練の日々 ■絶対にうまくいく

賢一が初めてチャンピイと対面したのは、依頼を聞いた1週間後だった。「愛嬌はあるが、片方の耳が垂れていて、目の輝きも鋭さに欠けていた。この犬を本当に盲導犬にできるのだろうか」。チャンピイの第一印象は、あまり良いものではなかった。

しかし、訓練を始めてみると、チャンピイはアスターに劣らず、教えたことをよく覚えてくれた。一方で、放浪癖と、他の犬とよく喧嘩をするという、大きな悪い癖があった。それに対しては、叱ってやめさせるより、同じ部屋で生活を共にして愛情を注ぎ、スキンシップをはかることが効果的だった。賢一は、それに時間をかけてじっくりと取り組んだ。その成果は河相さんの盲導犬になってから生かされた。ある日、チャンピイは工作中に大きな秋田犬に襲われ、ももを噛まれた。それを、じっと伏せて我慢した。喧嘩を買っていたら、一緒にいた河相さんを巻き込んだかもしれない。

基本的な服従訓練を終えた後、賢一はチャンピイを騒音や人の往来などに慣れさせるため、毎日一緒に街を歩いた。数ヶ月の後、チャンピイは協見をせ



ずにまっすぐ歩けるようになった。その後、商店街を想定して空地に障害物を置き、それらを避けて歩いたり、頭上の障害物の前で止まったりする訓練をした。仕事の途中で粗相^{そそう}をしないように、出掛ける前に人の指示で小便と大便を済ませる「ワン・ツー」も覚えさせた。賢一は早い段階から訓練に手応えを感じていた。絶対うまくいくという自信があった。

そして、訓練を始めてから1年3ヶ月、いよいよ河相さんにチャンピイを引き渡す時がきた。1957年夏のことである。

■河相涸さんへの歩行指導

■時には荒療治も

河相涸さんは大学卒業後、結婚して滋賀県彦根市の県立彦根盲学校の教師になっていた。チャンピイの訓練が終わると、賢一は、夏休みを利用して東京・大森の実家に戻っていた河相さんのもとに通い、歩行指導にあたった。犬の訓練が終わってもそれはまだ道半ば。共に歩く人が盲導犬の扱い方を身につけなければ、実際に視覚障害者の目になることはできない。

賢一はまず、信頼関係を築くためにも、チャンピイの日常の世話は河相さん自身で行なわなければいけないことを説明した。そして、実際にハーネスを持ってチャンピイと歩いてもらった。初めのうち、河相さんとチャンピイはなかなか息が合わなかった。チャンピイの歩くスピードが早すぎて、河相さんがへっぴり腰になってしまうのである。

「ま、そのうち合いますよ」。賢一は焦らなかった。

河相さんの実家がある大森は、車がとても多かった。もし事故にでも遭ったら取り返しがつかない。そこで、河相さんが横断歩道などで「行け」と指示を出しても、車が来たら後戻りして指示に従わない、という訓練が必要になった。賢一が車を運転して、道路を渡ろうとする河相さんとチャンピイの前にわざと突っ込んでくる、という荒療治も行った。車が来たらチャンピイは後ずさりする。河相さんはチャンピイの動きについて後退する。その練習を繰り返した。大森駅の近くにある長い石段の上り下りや、商店街で障害物を避ける練習も行なった。こうした歩行指導は、3週間近くにわたり、毎日行なわれた。賢一は、河相さんにチャンピイの日常の世話から道路の渡り方まで、盲導犬と生きるための全てを教えた。

■国産盲導犬第1号誕生

■チャンピイと2人で郵便局へ

河相さんが歩行指導を受けられる夏休みも残り少なくなったある日、賢一が愛犬学校の用事で来られない日があった。河相さんは賢一からチャンピイと二人だけで歩く許可をもらい、遊びに来た妹を駅まで送って行き、家まで一人で帰ってきた。次の日、それを聞いた賢一は「では、今日は今まで行ったことのない所へ行ってきてもらいましょう。昨晚よりはちょっと手強いかもしれませんが」と、1.5kmほど離れた郵便局で切手を買ってくるように言った。

河相さんは「チャンと一緒になら大丈夫」と、あえて大きな通りを信号のないところで渡る、難しい



コースを選んだ。行きはチャンピイを信じきれず、大通りを苦労して渡ったが、それをきっかけに自信と信頼が芽生えた。道順通りに郵便局へ行って切手を購入した後、帰りは気持ちに余裕を持ってチャンピイの誘導に身を委ね、難なく賢一のもとに帰ってきたのである。「やりましたね、ついに。本当におめでとう。ごくろうさんでした」。

1957年8月、日本で初めての盲導犬が誕生した瞬間だった。



■ アイメイト協会設立の経緯 ■ 組織化へ向け、苦難の連続

賢一は1958年、『塩屋愛犬学校』と併行して『日本盲導犬学校』をスタートさせた。相変わらず賢一個人の手による育成事業には変わらなかったが、卒業していく盲導犬は着実に増えていった。しかし、翌年、戦時中に患った結核が再発。盲腸も併発して4回にわたって手術を受けた。

闘病生活の間も盲導犬の育成は継続した。やがて実績を認める人たちが増え、出資者を得て1967年に『日本盲導犬協会』を設立。スタッフも加わって組織的な盲導犬の育成が始まった。1969年には東京都が盲導犬育成事業を開始。日本盲導犬協会がそれを受託する形が取られた。ついに自治体が公的に資金を出し、盲導犬を育てる時代がやってきたのである。

しかし、その頃から賢一と協会の理事に就任した出資者との間で考え方の違いが表面化した。賢一の言葉を借りれば、「彼らは『盲人のためにやってやってるんだ』という姿勢を強く押し出してきて、私の『障害者と一体でやろう。盲人の自立をお手伝いするだけだ』という理念と対立し、溝は深まるばかり

だった」ということであつた。また、出資金も約束通り支払われることはなかった。

賢一はぎりぎりまで溝を埋める努力をしたが、最終的には賢一の方から日本盲導犬協会と訣別する形となった。その後、若い指導員たちが仕事をボイコットして出ていってしまうという事件が発生。賢一は「一夜にして白髪になる」という表現がオーバーではないほどのショックを受け、長男・隆男が事故で一時意識不明になる不幸も重なり、いったんは盲導犬から手を引くことを考える。しかし、その隆男から叱咤激励されたことで立ち直り、1971年に新たに『(財) 東京盲導犬協会』を設立。その後、東京都に続いて多くの自治体が盲導犬育成事業に乗り出し、その大半を賢一の東京盲導犬協会が受託した。

また、東京盲導犬協会設立と同時に、盲導犬に代わる「アイメイト」という呼称を使い始めた。1989年には、東京盲導犬協会から『(財) アイメイト協会』へと名称を変更。現在に至っている。

■社会からの評価

賢一の功績に対する評価は、表彰や授賞という形で表れている。おもな受賞歴は以下の通り。

■厚生大臣表彰（1979年）

視覚障害者福祉で実績と功績を残したことが認められた。

■吉川英治文化賞（1982年）

なかなか日の当たらない盲導犬育成事業を長年地道に行ってきたことが讃えられた。



(左)吉川英治文化賞
の祝賀会で=1982年
(右)勲五等瑞宝章の
祝賀会で=1993年

■勲五等瑞宝章（1993年）

盲導犬（アイメイト）事業を通じて社会福祉に長年携わってきた功績が認められた。

■ヘレン・ケラー・サリバン賞（2002年）

アイメイトを通じて視覚障害者に歩行の自由を与え、自立と尊厳の獲得、社会参加を支援した貢献が認められた。



■塩屋賢一が残したメッセージ

晩年の賢一は、アイメイト協会の会長として、一歩引いた立場で使用者やアイメイト育成に携わる人たちを見守っていた。2010年9月12日、肺炎と呼吸不全により、88歳で永眠。アイメイトへの思いを語ったメッセージが、未来へと繋がってゆく。

■心でつき合うアイメイト

私はいつも、「アイメイトは目です」と言い続けてきました。卒業生が増え、使用者の年代の幅が広くなり、受け入れられる社会環境も変わってきて理解も深まり、使用者にとっては良い時代になったと思います。使用者一人一人が開拓者という感じで努力した10年くらい前と比べ、受け入れられるのが当然のようにになっている現況は有難いのですが、それが当たり前として使用者側の気持ちやマナーにゆるみが出ることはないかと気になるこの頃です。

（2001年5月30日）

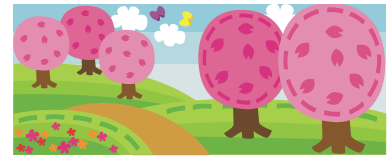
■『アイメイト』は、私の愛する目の仲間

私たちが『盲導犬』ではなく『アイメイト』と呼ぶのは、私の愛する目の仲間という意味なのです。『盲導犬』という言い方は、どうも違っている。どうか皆さんも、そのことを忘れないよう、がんばってください。（2009年10月4日）



■訓練にはいとおしむ心を、視覚障害者には情熱を
訓練には犬をいとおしむ心を、視覚障害者には「何としても独立歩行できるようになってほしい」という情熱を持って指導に当たって欲しいと思います。一人一人・一頭一頭それぞれ違います。そのペア歩行を完成させるにはマニュアルを消化するのではなく、個々へプラスアルファの対応をする工夫を要します。それでも適合できない人も、犬もいます。それを無理矢理適合させる事はできません。その判定は常に悩むところですが、そこをきちんと判定することがアイメイトの真価に繋がります。

視力の有無に関わらず、「心の視野を広く持って明るく積極的な社会人になりましょう」というのがアイメイト協会のモットーです。（2005年6月20日）



* 予定が変更となる場合があります。参加の際は担当者や後援会ホームページでご確認下さい。

	《イベント》	《場所》	《担当者》
3月21日(金・祝)	数寄屋橋募金活動	銀座数寄屋橋	鈴木(03-3878-7353)
3月29(土)・30日(日)	住まいの耐震博覧会	東京ビッグサイト	松澤(0280-98-4421)
4月5日(土)	大好きいばらきふれあいまつり	茨城県三の丸庁舎広場	古橋(029-295-4385)
4月6日(日)	成蹊桜祭	成蹊学園構内	井上(03-3704-6119)
4月13日(日)	オール学習院の集い	学習院目白キャンパス	鈴木(03-3878-7353)
4月20日(日)	ライオンズクラブ 330-A 年次大会記念イベント	増上寺	鈴木(03-3878-7353)
4月29日(火・祝)	東京女子大園遊会	東京女子大キャンパス	三村(045-981-4188)

5月17日(土) アイメイト後援会年次総会

時間:午後1時30分～

場所:アイメイト協会 3階

総会後は候補犬の見学や協会職員と共に懇親会の茶話会があります。

初めての人もぜひご参加を!

* 出欠ハガキを 4/15 までにご返送ください。



5月24日(土)	川崎駅 募金活動	川崎駅構内 東口	鈴木(03-3878-7353)
5月24日(土)	アイメイト協会同窓会総会	アイメイト協会 3階ホール	鈴木(03-3878-7353)
5月28日(水)	明治神宮崇敬会	明治神宮会館	鈴木(03-3878-7353)
6月15日(日)	西東京市ボランティアの集い	田無総合福祉センター	長谷川(岳)042-466-5087

2014 アイメイトサポートカレンダー事業報告

制作部数	2,500部
販売部数	2,297部
贈呈・見本総数 (アイメイト協会・撮影協力者・練馬区内小学校・高校 他)	203部
売上金額	2,297,000円
制作費 (撮影・デザイン・印刷費・Pホルダー (送料・梱包費別途))	1,151,075円

* ご好評頂きましたサポートカレンダーは、12月上旬に完売となり、お買い求め頂けなかった皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。次回は増刷予定ですので、今後ともご愛用下さいますようお願い致します。



Book Review



アイメイト協会のホームページにも紹介されていますが、アイメイト関連の本は数多く発行されています。後援会員の方であればもう何冊も読んだよ！という方も多いと思います。ミニ通信の編集会議でも、新しい本が出ると感想を言いあったりしています。また、「その本は知らなかった！」「読んでみたい！」なんて話題になることも。今回は、編集部員オススメの本をピックアップしてご紹介します。



■「しなやかに生きる 見えない女たち」編集：視覚障害者支援総合センター、2003年発行、博文館新社

僕が初めてアイメイト協会に関心を持ったのは、今から10年ほど前のことです。その時、何をサポートすればいいのか考えるには、まずアイメイトを使用する当事者の状況や考えを知ってからではと思い、神保町の三省堂に行って本を探しました。しかし、そこで気付かされたのは、視覚障害に関する本、それも視覚障害者自身が書いた本が非常に少ないということ。今でこそパソコンが普及し、メールなども一般的になっていますが、当時はまだ視覚に障害がある方たちの言葉が文字になることは少なく、文字になっていたとしても主に点字で書かれているのだと気付かされました。

そう思って振り返ると、アイメイト協会発行の記念文集などにも使用者自身の言葉が載っていますが、やはり比較的短いです。もっと深く知りたいと思っても、そこまでたどり着く前に文章が終わってしまうような、そんな印象を受けました。

同時に、これはたいへんなことだなと思いました。というのも、世の中に対して情報を出していない（出せない）ということは、逆に言えば、特に言うべき要求が無いと思われてしまうからです。夫婦や恋人同士でも、思っただけでも言わなきゃわからないっていうのとおんなじです。

ところが、ほんの少し時代が進むと、急速に視覚障害者自身が書いた本が発行されてきます。この「しなやかに生きる 見えない女たち」は、そうした動きが出始めた頃に見つけた本でした。

本書には、14人の視覚障害者（女性）が登場し、自身の言葉で様々な経験を語ります。アイメイト使用者も登場していますが、アイメイトについての話が出てくることは少なく、むしろ、日々の生活の中で自分が何を感じ、何を考えてきたか。多感な学生時代、恋愛、仕事、結婚、出産、子育て…。その時その時に感じたことを、自分の言葉で素直に表現しています。後援会員になったきっかけは、視覚障害者のサポートをしたいから。そんな皆さんに、ぜひ読んでいただきたい一冊です。（溝）

■「教壇に立つ視覚障害者たち」 編集：全国視覚障害教師の会、2007 年発行、日本出版制作センター

「アイメイト使用者で教師」と聞いて、真っ先に思い浮かぶのは埼玉県の中学校で国語教師をつとめている新井淑則さんでしょう。新井先生はアイメイト協会の 55 周年記念誌にも登場していますし、なにより、ご自身による著書「全盲先生、泣いて笑っていっぱい生きる」や NHK ドラマ「チャレンジド」（主演・佐々木蔵之介）など、先生の活躍を見聞きした方は多いと思います。

けれども、アイメイト使用者で教師なのは、彼だけではありません。嘉悦大学で環境教育を担う生井良一先生もその一人です。今回紹介する「教壇に立つ視覚障害者たち」には、そんな生井先生の日常が垣間見える文章「盲導犬ディッキーとともに」が収められています。生井先生は学生時代に失明。その後、教師となり、アイメイトと一緒に大学へ勤めるようになります。アイメイトと一緒に通う大学の様子、授業における試行錯誤の日々。そして、12 年間一緒に連れ添ったアイメイトとの思い出が、愛情たっぷりに綴られています。ちなみに、毎年、後援会のイベントを嘉悦大学で開催できているのも、生井先生のおかげなんです。

また、この本には、幼稚園から大学教授まで様々な学びの現場で活躍する先生たちの、リアルな声が収められています。教育現場にある困難や課題、克服のための方法やヒント、さらには、視覚障害教師だからこそできる教育の可能性が語られています。読んでみると、教師であるかどうかは関係なく（私自身、もちろん教師ではありません）、彼ら一人一人が日々、力強く前進しているエネルギーに圧倒されるような気がします。

そんな中から、幼稚園の教員・佐藤佳美さんが記した文章から、エピソードをひとつ紹介したいと思います。

子どもと私の会話 1

子ども「先生の眼はなんでおばけみたいなの？」

私「先生の眼が他のお友だちと違うことがよくわかったね。先生は眼が見えないから皆とは違う眼なんだよ」

子ども「お薬飲んだら？」

私「病院に行っても、お薬を飲んででも治らないんだよ」

子ども「ふうん」

子どもたちは感じたことを素直に聞いてきます。私は子どもの素直な興味をもっとも大切にしています。なぜならば子どもは初めて見る私の眼を単純に「お化け」と言っているだけなのです。差別をしているのではないのです。

ちょっとドキリとするようなエピソードですが、彼女の落ち着いた説明があるので、ずっと納得できます。もちろん、文章はこれでおしまいということはなく、まだまだ続きます。幼稚園で起きた実際の出来事を示しながら、それに対して彼女自身の考えを示していくといったスタイルで、様々な角度から大切なことを示してくれています。

さて、今回、手元にあるこの本を紹介するにあたり、念のためネット書店「Amazon.co.jp」を検索しました。「Amazon」には残念ながら新品の在庫が無いようですが、2008 年に再販され、楽天には在庫があるようです。入手が少し難しいかもしれませんが、第一線の現場で苦労しながらも教職を続けている方々の思いがこもった一冊です。（溝）

EYEMATE SUPPORT GOODS

縫いぐるみ

あいと

取り外せる
ハーネス付き
鼻から尻尾まで
30cm

¥3,800



コットン

ショール

綿 100%
ふんわり優しい
シワ加工
季節を問わずに
ご使用できます。
45cm×180cm
(シワ加工状態)

¥1,500



クリアファイル 2 枚セット

(各種あります/写真はEセット)

A4 サイズ 21 cm×30cm

表面:クリア/裏面:全面写真

2 枚組 ¥300



イラストミニレター

(他に写真ミニレターもあります)

8cm×19cm

(赤/緑 各) ¥300



2 頭ラブ携帯ストラップ

犬の体長 2.5cm

イエロー&黒/茶&ピンク

各 ¥1,000



本革ハンドストラップ

色:金ラブ/銀ラブ

犬の体長 2.5cm

金/銀 各 ¥1,000



真空

ステンレスボトル

保温、保冷のどちらも

高さ 19cm

直径 5.5 cm

容量:300ml

¥800



手編みストラップ

縦横 4.5cm

¥600



手編みキーカバー

ラブ縦 5cm、横 4.5 cm

¥800



手編み鉛筆カバー

カバー縦 4cm

¥800



しっぽが揺れる

ピンブローチ

縦 2.5cm

金/銀

各 ¥800

ハーネスラブ

ピンブローチ

2cm×2cm

銅/銀

各 ¥500



後援会グッズでアイメイトを応援!

★送料・お支払方法・お申込は裏表紙をご覧ください



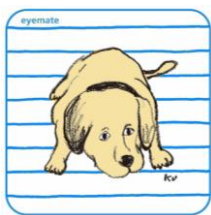
ハーネスラブ キーリング
リングの直径: 3.5 cm
金/黒 各 ¥800



レザー
キーホルダー
牛革製
リングの直径
3cm
¥1,000



フック付き
キーホルダー
小ぶりな三連タイプ
イラスト部分直径
1.9cm
¥600



ミニタオル
黒田征太郎デザイン
20cm×20 cm
青/赤 各 ¥300



写真エコバッグ
綿 100%
丈夫な厚地帆布生地
43cm×39cm×底マチ幅 7cm
¥1,500

イラストエコバッグ
綿 100%
薄地で畳んでバッグにしまえます
40cm×31cm / マチなし
¥600



リバーシブルマグバー
両面使用可マグネット
15cm×4 cm
¥400

スマホプラグ付き
ラブチャームストラップ
横 3.5cm
チェーンの長さ
20cm
¥800



しおり
ステンレス製
直径 3cm
¥200

貯金箱
高さ 18cm
¥800



シール
20 シート
A5 サイズ 15 cm×21cm
¥200



誘導の方法にルールはあるがマニュアルはない

後援会に入りアイメイト関係のイベントに参加すると、アイメイト使用者の方達と一緒に歩いたり、誘導のお手伝いを経験される機会もあると思います。

誘導の方法については、今までにも何回かミニ通信で取り上げてきましたが、お手伝いに参加したことがある方も、これから参加してみようという方も、心に留めておいていただきたいのは「誘導の方法にルールはあるがマニュアルはない」ということです。

例えば、アイメイトと歩いている人に方向などを道案内する時には「アイメイト使用者の右後ろから声で指示を出す」というルールがあります。これには、アイメイトの場合、左側にアイメイトがいるので犬の真後ろから声をかけると気が散るとか、右側の方が使用者のより近くで案内ができるなどの理由があります。

しかし、右後ろ何十センチのところを歩くのが良いとか、階段の何メートル手前に来たら教えなければならないというような決まりはありません。

それは、**歩くスピードや人と人との距離感、まわりの状況、そして何より誘導される一人一人のアイメイト使用者の方たちが、どう案内して欲しいかによって、毎回違うものだからです。**

この、マニュアル化できない部分こそ、経験や人間同士のコミュニケーション、相手の身になった心配りが必要な、誘導する上で一番大切な要素だといえるのではないのでしょうか。

そこで今回は、基本的な歩行時の誘導について気を付けたいことを、基本ルールと、状況によって対応が異なる場合に分けて考えてみました。

	基本ルール	臨機応変な対応を
1、挨拶	こちらから声を発して挨拶します。 (例)「こんにちは。後援会の〇〇です」 ※挨拶をした時と同様に、席をはずす時、その場を立ち去る時にも必ず声をかけて下さい。誰もいない空間に向かって話をさせてしまうという失礼なことがないように。	初対面での握手については、『握手すると背の高さなども分かって良い』『いきなり手を握られるのを好まない方もいる』など意見が分かれます。
2、歩行	■ポジション 右後方の少し離れた位置から、声で方向などを指示。 理由アイメイトと使用者のペアの前を歩くと、歩く速度が速いのですぐに追いつかれてしまい、アイメイトは誘導者を避けて進もうとします。また、使用者にも声が聞こえづらくなります。 アイメイトがいる左側で後ろから声をかけると、犬の気を散らしてしまいます。  ■やってはいけないこと 後ろから犬に向かって「ライト」「ストップ」などと命令しない。 ハーネスを持って引っ張らない。 使用者の背中を後ろから押したり手を引っ張ったりしない。	・アイメイトとの「二人五脚」の邪魔にならないように。 ・人によって、また混雑の度合いによっては「前を歩いてくれればついていくから」と言われることもある。 ・狭い場所などでは、ハーネスを持っていないほうの手(右手)で誘導者の左ひじにつかまってもらって誘導することもある。 ※いずれも使用者の方が希望された場合に対応して下さい。 ※ハーネスは犬の微妙な動きを感じとり、人と犬をつなぐ大切な用具です。絶対に触らないで下さい。

3、誘導

■教えて欲しいこと

方向

今向いている方向に対して前後左右で示して下さい。
曲がり角ではアイメイトが一旦停止しますので、その時にタイミングよく「右に行きます」「左に曲がって下さい」などと声をかけます。

前方の予備知識

階段、エスカレーター、ドア、改札など、「何メートル先に〇〇があります」のように伝えます。階段は上りか下りかも合わせて伝えて下さい。

信号や道路

犬は色を識別することができません。アイメイトと一緒に歩いていても、信号があるところでは「まだ赤ですよ」「青になりました」などと声をかけて下さい。
また、信号のない道路を渡る時には、渡って大丈夫かどうか、交通の状況を見て伝えて下さい。

■危ない時は！

「ストップ！」と大声で知らせて下さい。

ストップの声で立ち止まったら、ゆっくり落ち着いて次にどうすればいいか伝えましょう。

・時計の文字盤に例えて「1時の方向に階段があります」などのように伝えると微妙な方向も表現できます。

・段差や障害物は、アイメイトが教えますので細かく伝えなくても大丈夫です。



・通常アイメイト使用者を含む視覚障害者の方たちは、音を頼りにして交通の状況やまわりの人の様子から、渡って大丈夫かどうか判断しています。交差点などでは積極的に声をかけましょう。

※急に引っ張ったりしないで下さい。

4、会話

■頭に地図を描くお手伝いを

視覚障害者の方たちは、いろいろな情報をもとに頭の中に地図を描きながら移動しています。アイメイト使用者の方たちにとっても、地図がどんどん増えていくことは楽しいことです。

特に、音や匂いに特徴がある店などは目印になりますので、「ここはカレー専門店の前ですよ」「大きなガソリンスタンドです」など様子をお伝えすると、一人で歩く時の参考になります。

■色やテレビの話も普通に楽しんで

街に溢れる色、花の色、洋服の色、話しても全然差支えありません。

テレビや映画のことも普通に話して下さい。



階段や曲がり角がなく、特に誘導が必要ないところでは、周りの様子などを積極的にお伝えすると喜ばれます。

どんなお店があるか、道路やコンコースはどんな様子か、また、面白いものを見つけたらどんどん教えて差し上げましょう。

近くで聞きなれない音がしたら、何の音だったか(分かれば)教えて差し上げましょう。

アイメイト使用者の方も一人一人それぞれですので、中には話したくない話題や、テレビに疎い方もいらっしゃると思います。お互いが楽しく会話できるように気配りを忘れずに。

以上、今回は歩行中の誘導に関するルールと、「マニュアル化できない」部分についてご案内しましたが、これ以外の場面について、次回以降にお伝えできればと思っています。

誘導とは、相手が何を求めているのか考えながら、相手の負担にならないご案内をすることではないかと思います。後援会員みんなで楽しく取り組んでいきましょう！

風を切って歩く幸せ

2013年10月12日にサントリーホールで「第30回アイメイトチャリティコンサート」(東京パイロットクラブ主催)が開催され、アイメイト使用者の志賀信明さんが、アイメイトと生きるご自身の日々を、ユーモアとトリトンへの愛情たっぷりにスピーチされました。その内容をご紹介します。



皆さん、こんにちは!本日、満27歳の誕生日を迎えられたサントリーホール、そして、東京パイロットクラブ様主催によるアイメイトチャリティコンサートも今回で第30回目、そんな記念の日にふさわしい天野さんの誠に素晴らしい歌声、その流れをぶった切るように現れた変なおじさんの私。

今回、アイメイト協会理事長の奥様よりお電話を頂戴し、「ねえ、志賀さん、いつもボケーツとしてないで、たまには、なにか気の利いた話の一つでもしてきなさいよ、ねえ、わかった?」と脅迫されて、いや、命令されて、いや、失礼、依頼されて小心者の私はそんなわけでこの舞台に上がらせていただくことになりました。

埼玉県入間市からまいりました志賀と申します。そして、私の足もとで伏せているのがアイメイトのトリトン、もうすぐ7歳7カ月を迎える男の子、私にとって世界一のアイメイトです。

本日は皆様になにをお話しすれば、なにをお伝えすればいいのだろうとかなり悩みました。アイメイトの素晴らしいさを語り始めれば、いくら時間があっても足りないので今回はアイメイト使用者としての私自身について少しお話しさせていただこうと思います。

トリトンと歩き始めてから5年5カ月が過ぎました。それまで約7年間、白杖と呼ばれている白い杖を突いて歩いていました。白杖歩行とアイメイト歩行、どのような違いがあるのか、大きな相違点が2つあると思います。

まず、白杖歩行では常に強い孤独感に襲われ、大きな精神的疲労を伴い外出を避けるようになりましたが、アイメイト歩行では1人じゃないんだという安心感から心に余裕が生まれ笑顔でとても快適に歩けますし、外出がとても楽しみにになりました。

そして、もう1つの相違点、白杖歩行では、杖の先に当たった感覚や音でその障害物を認識するのに対して、アイメイト歩行は直接目で見て歩いているということだと

思います。もちろん、私の目にはなにも映りませんが、トリトンの目を借りて、頭の中で映像化しあたかも自分が見ているかのように歩けるのです。

晴眼者と変わらぬスピードで歩き、事前に障害物を回避したり、階段や段差の始まりをあらかじめ確認することができます。切符売り場や改札口にも迷わず直進、ドアや空席を見つけ、そしてなによりも、駅や商店街などの人混みの中でも誰にもぶつからずに上手によけて歩くことができるのです。自分が全盲であることを忘れてしまうことも少なくありません。

もちろん、これらの動作は私1人の力では叶いません。そして、トリトンの力だけで叶うものでもありません。人と犬の協同作業が、これらのスムーズな動作を生み出しているのです。

アイメイト歩行、実際私達がどのように歩いているのか、ハンドルを強く握りしめ、ただ犬にくっついていけばいいのだろう、そんな簡単なこと俺にも、私にもできるよと思われる方はいらっしゃいますか?

(会場:挙手はなく・・・)そうなんです、実は一見しただけではわからない、かなりの技術と慣れを要するものです。犬は自発的には動きません。主人である視覚障害者の適切な指示によって初めて犬は行動を開始します。その動きに逆らわずに私達も歩を進めていくのです。「盲導犬、人がいなければただの犬」

アイメイト使用者による川柳だそうです、的を射た素晴らしい作品だと思います。

頭の中に描いた地図をもとにアイメイトの目を借りて、上下、前後左右、すべての方向に聴覚と神経を集中し、車の流れから信号の色を判断し横断、アイメイト歩行では、左足が軸足というのが基本、そして、段差や路面の状態を右のつま先で確認し、現在どの辺りを歩いているのかを把握する、風の言葉や季節の流れをこの柔肌に感じ、犬がハンドルに送り出す微かな感覚を左手に感じ、

右手で視^し符^ふを出し、常に犬に声をかけその日その時の犬の感情や体調を把握する。賞めたり叱ったり賞めたり、そんな日々の積み重ねは確実に2人の距離をなくし完成度の高いアイメイト歩行へと成長していくのだと思います。

そして、アイメイト歩行において最も大切なこと、主人である私達が犬を常にコントロールできる状態でなければいけないということです。言うことを全然聞かなかったり、勝手な動きを平気でするようでは安全な歩行など夢のまた夢です。

約4カ月間の指導員による訓練でしっかりと仕事を身につけたアイメイト、しかし、その指導員から主人が私達視覚障害者に変ったその瞬間から犬はくずれていきます。それをいかに最低限にとどめるか、その上で独自のコミュニケーションにより更に2人の絆を深めていけるかはすべて私達の課題となり、義務となり、責任となるのです。

続いてアイメイトの健康管理。具体的には食事や排泄、ブラシ、歯磨き、耳掃除、シャンプー等々、誰が担当すると思いますか？目の見えない主人では大変なので家族の手を借りて、またはボランティアの人がすると思う方、拍手してみてください。アイメイトをバカにしちゃいけないよ！そんなのは当然犬がやるに決まってるじゃ無いかと思われる方、拍手をお願いします。

(会場：拍手なし・・・)これら犬のお世話はすべて主人である私達の仕事、アイメイト協会では、これらの世話もできない使用者には犬は渡しません。

これだけのことをやってのける俺って本当はすごいんじゃない！目が見えないことくらいどうってことないんだな。もしかして、俺は選ばれた人間なのかもしれない？そんな風に思えるようにもなりました。

全盲になり今までできたことをすべて失い、落ち込んだ日もありました。白杖で歩いていた頃、1人しかいない私の奥さんの誕生日に駅前でケーキを買っていきましました。甘い物がなによりもの好物のかみさんの喜ぶ顔が脳裏に浮かび家路を急ぎました。霞川という小さな川にかかる橋を渡り始めたその瞬間、ちょっとした段差につまずいて私は転んでしまいました。咄嗟に出た両手は地面に、右手に持っていた白杖は飛んでいき、左手に持って

いたケーキの箱は自分の手で押しつぶされてしまいました。ケーキの1つもまともに買ってやれないなんて、どうして俺だけこんな目に遭わなきゃいけないんだ、悔しさと情けなさで自然に涙が溢れ、気がつく时下を流れる霞川にケーキを箱ごとバカ野郎の言葉と一緒におもいきり投げつけていました。

ところがです、トリトンが来てから、それは一変しました。彼は私の体の幅、そして、ケーキの箱の幅まで計算し慎重に歩いてくれたのです。無事にわが家に到着した時、もちろんケーキは無傷でした。トリトンを抱きしめながら感謝のありがとうの言葉と共に、また涙が溢れました。でも、あの時の悔し涙ではなかったことは言うまでもありません。

できることが少しずつ増えていき、それは自分に対する大きな自信へと繋がっていきました。パソコンを使いこなし、読書に明け暮れ、幼い頃からあこがれていたピアノを習い始め、発表会にも出ちゃって大恥をかいいたりして、地元の学校に呼ばれてアイメイトのお話もさせていただいています。

これからも、まだ見ぬ新たな明日への扉を1つでも多く開くことができればと思います。

たくさんの方々の思いとご協力に支えられアイメイトと歩ける幸せをいただいたことこの場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。

「あくまでも人が主役であり、犬は名脇役」という理念のもと「視力はなくても、心の視野の広い、明るく積極的な社会人になりましょう」の合言葉を掲げ視覚障害者の自立のお手伝いに向けて邁進するアイメイト協会に、今後も更なる皆様のご理解とご協力をお願いし、私の自慢話はこれでおしまいです。ありがとうございました。



フッフと笑えてじーんと胸が熱くなるスピーチを披露した志賀さん(前列中央)

後援会員で、同窓会の会員でもある水野玲子さんは、アイメイト生活28年のベテラン使用者です。ご自宅で31年間スナックを営み、買い物や仕込みで忙しい日々をやりくりしつつ、後援会活動にも積極的です。また、趣味で始めた詩吟は全国大会で優勝するほどの腕前。アイメイトを得て、キラキラと生きる水野さんにお話を伺いました。

―後援会の活動に積極的に参加されていますね。

最初のアイメイトだったチトニアの介護を経験し、リタイア犬奉仕のご家庭が経験することを、自分も体験し、ボランティアの皆さんへ感謝の念が生まれるようになりました。

皆さんは協会や私たちのためにいろいろしてくださる。だから、私も自分たちのことなのだから、できるだけ顔を出そうと思い、各地での啓発イベントや募金活動に参加しています。

個人的には毎年、町内会で年末に餅つき大会が行われるんですが、関係者のご提案で6、7年くらい前からお餅の売り上げをアイメイト協会に寄付してくださるようになって。当日は私も会場でグッズ販売や募金活動をしています。

それから、チトニアの頃から、学校の依頼で生徒たちにアイメイトや視覚障害について話をしています。私の話を聞いた地元の小学生が、街で声をかけてくれることもあるんですよ。



「歩み展 in 船堀」で、「風を切って歩く幸せ」についてお話する水野さん。

―アイメイトを看取った経験があるのですね。

私に自由に歩ける喜びをくれたチトニアには本当に感謝しています。それで、チトニアへの恩返しとして、最後まで面倒を見ました。介護が必要だったのは2カ月ほどでしたが。

チトニアの足腰が弱って、出かけるのも難しくなっていたころ、何度かチトニアと出かけた小学校の校長先生から講演の依頼がきました。最初はお断りしたんですけど、どうしてもチトニアと来てほしいとおっしゃるので、お受けしました。出かける日になって、久しぶりにチトニアにハーネスを付けたら、とたんにシャンシャンとして。16歳を過ぎていましたが、チトニアのプロ意識を感じました。

―水野さんはなぜアイメイト使用者に？

もともとは弱視で、高田馬場の点字図書館に勤めていました。ある日、通勤中に電車とホームの間に落ちたんです。何とか這い上がって事なきを得ましたが、もうダメかと思うほど怖い体験でした。その後、視力を失い、通勤が困難になり13年間勤めた図書館を辞めました。



アイメイトを希望したのは、元来動物が好きだったこともありますが、いつでもどこでも、誰に気兼ねすることなく出かけられるようになったかったから。

実は亡くなった主人もアイメイト使用者で、自由に歩く姿を見てきました。だから、自分もアイメイトがいいって。

アイメイトと一緒に、歩くのが楽しいんです。危険から命を守られていると感じますし、人に道を尋ねる勇気も湧きます。そして、私たちアイメイト使用者を支援して下さる繁殖奉仕、飼育奉仕、リタイア犬奉仕、アイメイト協会など多くの人たちに心から感謝しています。

―詩吟も習っていると聞きました。

童謡と詩吟をやっています。童謡はサークルにも入っていて、老人ホームや公会堂、学校からの依頼で皆さんの前で歌うこともあります。アイメイトのチャリティーコンサートでも歌いましたよ。そうそう、チトニアと訪れた学校の校長先生が「チトニアの歌」という歌を作詞作曲してくださって。今でも、学校などに講演に行ったら、この歌を歌って締めくくっています。

詩吟は20代のころ中断していたんですが、アイメイトと自由に外出できるようになり、また習いだしました。再開して25、6年になります。お稽古はもちろん、詩吟の大会にもアイメイトと出かけています。

目が見えないことは、不自由で不便なことはありますが、決して不幸ではありません。

♡ラブマスコット♡

新発売!



大きさ: 体長 15 cm・チェーンの長さ 16 cm
アイメイトのタグ付き
ボールチェーンでバッグやポーチに付けられます。
足の裏に肉球の刺繍が!
価格: 白・茶 各¥1,600

アイメイトグッズご注文方法

- 送料: お買上げ 2,000 円以上無料 / 2,000 円未満は送料 500 円
- お支払方法: 代引き / お振込み / カード決済 (ネットショップのみ)
- アイメイトグッズショップ <https://ssl.shop.eyemate-support.org/goods/>
- TEL: 03-3878-7353 / FAX: 03-3675-8588 (鈴木)